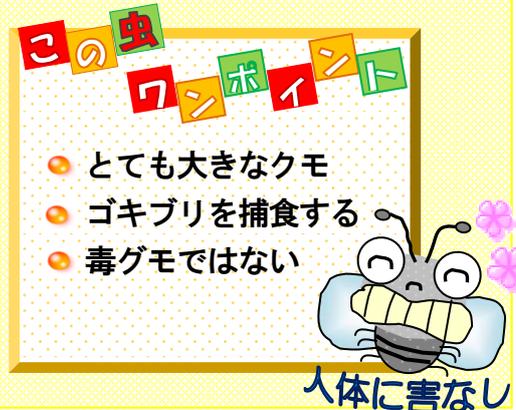


アシダカグモ

大きく不気味な姿のクモですが、ゴキブリ駆除に活躍する益虫です。



屋内でくん煙処理後に発見したアシダカグモ(宮前区犬蔵・9月)



形態

- ・雄グモは体長 15～20 mm、雌グモは 25～30 mm。体長はさほど大きくないが、50 mmほどの長い脚を持っており、脚をひろげた大きさは大人の手のひらほどになります。
- ・体色は白・灰・褐色の毛が生え、灰褐色に見えます。脚には蛇の目模様があります。

生態

- ・家屋内に主に生息し、巣を張らず、歩き回りながら餌を探します。
- ・ゴキブリなどを捕食する益虫で、ゴキブリが発生している家屋に住み着くことが多いです。夜行性で薄暗い所を好み、日中は戸袋・天井裏・家具の隙間に隠れていることが多いです。
- ・家の中を大きなクモが走り回る姿から、恐怖感を与えます。グロテスクな姿から毒グモと勘違いされますが、人間に影響する毒は持ちません。
- ・自ら人間に対して、刺したり、咬んだりはしません。素手でつかんだりすると咬みつかれることがあります。

駆除するには

- ・長い箸やピンセットなどでつまんで家の外に追い出します。
- ・まるめた新聞紙などで叩きます。
- ・スプレー式殺虫剤を噴霧します。
- ・クモには直接素手で触れないようにします。

発生を予防するには

- ・エサとなるゴキブリを駆除します。
- ・ゴキブリなど他の虫が住みにくくなるよう、食べ物は密封容器に保存、生ゴミは密封できるゴミ箱に捨て、こまめに掃除します。
- ・侵入口となる隙間やひび割れがないか点検し、塞ぎます。

